



学校だより

令和8年度 7月号
令和8年 7月1日
さいたま市立大谷口中学校

【学校教育目標】 かしこく 美しく たくましく

一歩前へ

校長 高村 昌利

夏空がいっそうまぶしく輝き、季節はいよいよ本格的な夏へと向かっております。梅雨明けが待ち遠しい今日この頃です。保護者・地域の皆様には、日頃より本校の教育活動に温かいご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、7月を迎え、1学期もいよいよまとめの時期となりました。6月26日（金）から28日（日）までの三日間に実施した修学旅行は、3年生にとって中学校生活の大きな節目となる行事でした。台風の影響により天候が心配されましたが、全日程を無事に終えることができました。仲間とともに過ごしたかけがえのない時間は、それぞれの心に深く刻まれたことと思います。

台風接近の中、奈良公園では雨の中での散策となりましたが、そのような状況においても、生徒たちは落ち着いて班別行動に取り組んでいました。春日大社の「神の使い」として大切にされてきた鹿（ニホンジカ）とも出会い、歴史や文化を肌で感じる貴重な体験となりました。天候に左右されながらも工夫し前向きに行動する姿から、3年生のたくましさや確かな成長を感じることができました。学年としてのまとまりと力が存分に発揮された、まさに成長を実感できる素晴らしい行事となりました。

また、期末テストが終わり、生徒の皆さんはほっと一息ついている頃かもしれません。テスト前は、朝早くから登校して学習に励む姿が見られ、本当によく頑張っていました。日々の授業に真剣に向き合い、時間を積み重ねて努力してきた過程こそが確かな力となります。結果に一喜一憂するだけでなく、自身の取組を振り返り、「次にどう生かすか」を考えることが今後の成長につながります。ぜひ、自分の努力を自分自身で認め、自信へとつなげてほしいと思います。

部活動では、学校総合体育大会さいたま市予選が行われました。3年生にとって一つの区切りとなる大会でした。引退を迎えた3年生の皆さん、本当にお疲れさまでした。部活動で培った粘り強さや仲間との絆、そして最後までやり抜いた経験は、これからの人生においてかけがえのない財産となります。流した涙には悔しさも喜びもすべてが込められており、その一つひとつが尊く、まさに青春の輝きです。ひたむきに声を出し、仲間とともに全力で取り組む皆さんの姿は、保護者の皆様、そして私たち教職員にとって大きな感動そのものでした。たくさんの感動をありがとうございました。なお、県大会出場を決めた皆さんには、心よりお祝いの言葉を送ります。自分を信じ、仲間を信じて、更なる高みを目指して力を発揮してくれることを期待しています。

こうして振り返ると、1学期は大谷口中学校の生徒一人ひとりの活躍が随所に光る学期でした。学習、学校行事、部活動など、あらゆる場面で見せてくれた真剣な眼差しや仲間と支え合う姿、困難にも粘り強く挑む姿に、心から拍手を送りたいと思います。これから迎える7月は、1学期の締めくくりとしてとても大切な時期です。残された日々をどのように過ごすかが、次の成長への大きな一歩につながります。一日一日を大切に、自分自身の成長を実感できる時間にしてほしいと思います。小さな目標でも構いません。「昨日の自分よりも一歩前へ」という意識をもって過ごすことで、日々の積み重ねがやがて大きな自信となり、自己肯定感の向上につながります。合言葉である、朝礼でもおなじみの『大谷口中最高！』を胸に。

間もなく夏休みを迎えます。長い休みは、心と体を整え、新たな力を蓄える貴重な期間です。安全や健康に十分留意しながら、自分自身と向き合い、新たなことに挑戦する有意義な時間としてほしいと願っています。保護者・地域の皆様には、引き続き、本校の教育活動にご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。